

Ban.Tai

PRECISION GRID STUDIO

精密方眼紙印刷メーカー ユーザーマニュアル

Version 3.2.0

目次

第1章 はじめに	P.3
第2章 インストールと起動	P.4
第3章 画面の見方	P.5
第4章 基本操作	P.6
第5章 印刷設定（重要）	P.8
第6章 試用期間とライセンス	P.9
第7章 トラブルシューティング	P.10
第8章 よくある質問 (Q&A)	P.11

第1章 はじめに

1.1 製品概要

Ban.Tai 精密方眼紙印刷メーカーは、Windowsで動作する方眼紙生成・印刷専用アプリケーションです。マス目サイズ・余白・線色などを mm 単位で精密に指定し、ワンクリックで印刷、またはPDFとして保存できます。

1.2 特徴

- CSS @page により mm 単位の物理サイズを正確に保証
- 未来的なダークUIによる快適な操作感
- 日本語 / 英語切替対応
- A3 / A4 / A5 / B4 / B5 / Letter の6種類の用紙、縦・横向きに対応
- 線色4色、線の太さ3段階、太線・中心の十字線・目盛り数字に対応
- 「PDFで保存」ボタンで、選んだ用紙サイズ・向きの実寸PDFを保存
- 入力した設定は自動で保存され、次回起動時に再現
- 軽量・高速動作

1.3 動作環境

項目	要件
OS	Windows 10 / 11 (x64)
メモリ	4GB以上推奨
ディスク	250MB以上の空き
プリンタ	使用する用紙サイズに対応した任意のプリンタ（PDF保存のみなら不要）

第2章 インストールと起動

2.1 インストール手順（7ステップ）

1. **ダウンロード**：配布ZIPを任意フォルダに解凍
2. **インストーラ実行**：`HouganshiMaker-Setup-3.2.0.exe` をダブルクリック
3. **言語選択**：日本語 または English を選択
4. **インストール先指定**：既定 `%LOCALAPPDATA%\Programs\Ban.Tai\`（変更可）
5. **ショートカット作成**：デスクトップ・スタートメニュー両方にチェック推奨
6. **完了**：「インストール」→数秒で完了、「Ban.Tai を実行」にチェックして「完了」
7. **起動**：デスクトップの Ban.Tai アイコンをダブルクリック

△ Windows SmartScreen 警告について

「不明な発行元」と警告が出る場合、「詳細情報」→「実行」をクリックして続行してください。署名なしビルドのため発生しますが、安全です。

2.2 起動

デスクトップの **Ban.Tai** アイコン（虹色グラデーションの方眼）をダブルクリック、またはスタートメニューから起動します。起動時にスプラッシュ画面が約1.5秒表示された後、メイン画面が開きます。

2.3 アンインストール

1. Windows「設定」→「アプリ」→「インストールされているアプリ」
2. 「Ban.Tai」を選択 → 「アンインストール」
3. 設定データも削除する場合：`%APPDATA%\方眼紙メーカー` フォルダを削除

ヒント：通常のアンインストール後も試用期間情報・ライセンス情報は保持されます。再インストール時はライセンス再入力不要で利用継続できます。試用期間は、アンインストールや保存データの削除では元に戻りません。

第3章 画面の見方

3.1 全体レイアウト

画面は左右2カラム構成です。

- **左：設定パネル** — マス目・用紙・色などの全設定
- **右：プレビューエリア** — 設定がリアルタイム反映

3.2 設定パネルの構成

項目	説明
上部（ロゴ・試用期間・言語）	バージョン表示／残り日数を常時表示／日本語・EN 切替
マス目 / 余白 (mm)	マス目は 1～50mm（0.5mm刻み）／余白は用紙端からの最小余白
用紙 / 向き	A3・A4・A5・B4・B5・Letter ／ 縦・横
線色 / 線の太さ	黒・青・緑・灰 ／ 細 0.1mm・標準 0.15mm・太 0.25mm
線の濃さ	5%～100%
太線・十字線・目盛り数字	太線は なし／4・5・10マスごと。十字線・目盛り数字はチェックで切替
プレビュー倍率	画面表示用（印刷には影響なし）
印刷 / PDFで保存	印刷ダイアログを開く ／ 保存先を指定してPDFを書き出し
ヘルプ / 終了	アプリ内ヘルプ表示／アプリ終了

3.3 メニューバー

- **ファイル** — 印刷 (**Ctrl+P**) / PDFで保存 (**Ctrl+S**) / 終了 (**Ctrl+Q**)
- **表示** — 再読込 / 拡大縮小
- **ヘルプ** — ヘルプ表示 (**F1**) / マニュアルPDF / バージョン情報

第4章 基本操作

4.1 方眼紙を作る5ステップ

1. マス目サイズを入力（例：5mm）
2. 余白を入力（例：15mm）
3. 用紙サイズと向きを選択（A4 縦 推奨）
4. 線色・太さ・濃さを調整（必要なら太線なども設定）
5. 印刷ボタンで印刷、またはPDFで保存ボタンでPDF保存

4.2 マス目サイズの目安

用途	推奨サイズ
細かい設計図	1～2mm
一般的な方眼紙	5mm
習字・図形練習	10～15mm
大きなレイアウト	20～50mm

4.3 余白の自動調整

マス目サイズと用紙サイズの関係で端数が出る場合、余白が自動的に微増調整され、全マス目が完全な正方形になるよう配置されます。

例: A4 (210mm幅) で 5mm マス・余白15mmの場合、実描画幅 = $\text{floor}((210-30)/5) \times 5 = 180\text{mm}$ 。左右余白 = $(210-180)/2 = 15\text{mm}$ （ピッタリ）。

4.4 言語切替

左パネル上部の「日本語」「EN」ボタンで瞬時に切替可能。設定は次回起動時にも保持されます。

第4章 基本操作（続き）

4.5 作成される方眼の確認

左パネルに「36×53 マス / 余白 左右 15mm・上下 16mm」のように、実際に作られる方眼のマス数と余白が表示されます。

4.6 太線・中心の十字線・目盛り数字

- **太線**：4・5・10マスごとに太い線を引きます。方眼の左下を基準に数えます。
- **中心に十字線**：用紙中央付近に縦横の太線を引きます。マス数が奇数のときは、中心に最も近いマス目の線（半マス分ずれた位置）に引きます。
- **目盛り数字**：太線の位置に、左下を0とした数字を入れます（太線の設定が必要。左・下の余白が8mm以上あるとき表示）。理科のグラフ用紙づくりに便利です。

4.7 PDFで保存

「PDFで保存」ボタン（または **Ctrl+S**）を押し、保存先を選びます。PDFは選んだ用紙サイズ・向きの実寸で作られ、ファイル名は「方眼紙_A4縦_5mm」のように自動で付きます。コンビニなどでの印刷にも使えます。

4.8 入力チェックと設定の保存

- マス目は1～50mm、余白は0～100mmの範囲で入力します。範囲外・余白が大きすぎて方眼が作れない場合は、赤いメッセージが出て印刷・PDF保存ができません。
- 余白が5mm未満のときは、プリンタによって端が印刷されない場合があるため注意が表示されます。
- 入力した設定は自動で保存され、次回起動時にそのまま再現されます。

第5章 印刷設定（重要）

△ 最重要警告

プリンタの**用紙サイズ設定**が、アプリで選んだ用紙（例：A4）と違う、または L判・はがき・写真用紙等の**小さい用紙**になっていると、方眼紙データが縮小・拡大されて実寸になりません。

必ず印刷前に、プリンタの用紙サイズがアプリで選んだ用紙と同じか確認してください。

5.1 プリンタ既定用紙の確認手順

1. Windows「設定」を開く
2. 「Bluetooth とデバイス」を選択
3. 「プリンターとスキャナー」を開く
4. 使用中のプリンタを選択
5. 「印刷設定」ボタンをクリック
6. **用紙サイズ**を、アプリで選んだ用紙（例：**A4**）に変更
7. **用紙種類**を **普通紙** に変更
8. 「OK」で保存

5.2 印刷ダイアログでの推奨設定

項目	推奨設定	理由
用紙	アプリで選んだ用紙と同じ	アプリの設定と一致
向き	アプリで選んだ向き（自動設定）	横向きを選んだ場合も用紙サイズから自動で合います
倍率	既定 / 100%	拡大縮小すると mm が狂う
余白	なし（None）	アプリ側で余白制御
カラー	カラー	線色を反映

5.3 印刷後の検証

印刷した方眼紙を**定規で実測**してください。設定値と一致していれば成功です。例：マス目 15mm 設定 → 実測 15mm。

PDFで保存した場合は、PDFビューアの印刷画面で「実際のサイズ（100%）」を選んで印刷してください。

ヒント: もし実測値が小さい場合、ほぼ確実にプリンタの既定用紙設定が原因です。

第6章 試用期間とライセンス

6.1 試用期間

本ソフトウェアには **10日間の試用期間**が設けられています。初回起動した日から数えて10日間、すべての機能をお試しいただけます。

6.2 SAMPLE 透かし

試用期間中、印刷物・PDFには「**SAMPLE**」の**透かし**が入ります。これは試用版の証であり、製品版ではこの透かしが削除されます。

6.3 試用期間終了後

試用期間が終了すると、印刷とPDF保存が無効になります。継続してご利用いただくには製品版ライセンスが必要です。

6.4 ライセンス購入

ライセンス購入については、配布元または下記連絡先までお問い合わせください。

残り日数の確認: アプリ左パネルの試用期間バーに常時表示されています。

ライセンスの登録: ヘルプ → 「ライセンス」 タブにキーを入力します。登録したキーは起動のたびに確認されます。

6.5 ライセンス条項概要

- 個人利用および商用利用は別ライセンス契約による
- 再配布・改変・リバースエンジニアリング禁止
- 無保証。利用に伴う一切の損害について作者は責任を負わない

第7章 トラブルシューティング

7.1 印刷したマス目のサイズが小さい

原因: プリンタの用紙サイズが、アプリで選んだ用紙と違う（L判等の小さい用紙になっている）。

対処: 第5章「印刷設定」を参照し、プリンタの用紙サイズを合わせてください。

7.2 印刷時にエラーが出る

プリンタドライバが古い可能性があります。メーカーサイトから最新ドライバを取得してください。

7.3 アプリが起動しない

1. 一度アンインストール
2. %APPDATA%\方眼紙メーカー フォルダを削除（試用期間・ライセンス情報は別の場所にも保持されるため、削除しても元に戻りません）
3. 最新版を再インストール

7.4 プレビューが真っ白

余白が大きすぎる、またはマス目が用紙より大きいと、方眼が作れず用紙が白くなります。この場合は左パネルに赤いメッセージが出ます。余白かマス目を小さくして再度確認してください。

7.7 「PDFを保存できませんでした」と表示される

保存先のフォルダに書き込めない、または同名ファイルを他のアプリが開いている可能性があります。別のフォルダやファイル名で保存し直してください。

7.5 「印刷プレビューをサポートしていません」と表示される

これはプリンタドライバの仕様で、Ban.Tai の問題ではありません。そのまま印刷を実行すれば正常に印刷されます。

7.6 SAMPLE 透かしを消したい

製品版ライセンスをご購入ください。試用版では透かしの除去はできません。

第8章 よくある質問 (Q&A)

Q1. 試用期間はリセットできますか？

できません。試用期間の開始日は複数の場所に保存されており、アンインストールや保存データの削除、パソコンの時計の巻き戻しでは元に戻りません。継続してご利用の場合は製品版ライセンスをご購入ください。

Q2. PDFとして保存できますか？

はい。左パネルの「PDFで保存」ボタン（または **Ctrl+S**）で、選んだ用紙サイズ・向きの実寸PDFを保存できます。

Q3. 用紙サイズは A4 / B5 以外も対応しますか？

A3 / A4 / A5 / B4 / B5 / Letter に対応しています（B判はJIS規格）。縦・横の向きも選べます。

Q4. Mac / Linux 版はありますか？

現在 Windows 版のみです。要望が多ければ対応を検討します。

Q5. 線の太さを変更できますか？

はい。「線の太さ」で細（0.1mm）・標準（0.15mm）・太（0.25mm）から選べ、「線の濃さ」スライダーで濃さも調整できます。

Q6. 自動アップデート機能はありますか？

v3.0時点ではありません。新バージョンは配布元から手動でダウンロードしてください。

Q7. メニューバーが表示されない場合は？

Alt キーを押すとメニューが表示されます。

Q8. ショートカットキー一覧

キー	動作
Ctrl+P	印刷
Ctrl+S	PDFで保存
Ctrl+Q	終了
F1	ヘルプ表示
Esc	ヘルプ閉じる